

メーキャップ 状況
 8月11日(月) 和歌山北R.C. 角谷 芳伸、亀田 直紀、嶋 忠弘、武田 慎介、西本 亨、山本 進三
 8月22日(金) 大阪R.C. 堀井 孝一
 8月23日(土) 地区委員長会議 岡野 年秀

ニコニコ箱

ありがとうございました

平原 祥彰さん	卓話の御礼をニコニコに頂きました。	阪神タイガース応援団一同
平原 祥彰さん	私は毎日ニコニコして暮らしております。一年間皆さんに協力していただきましたので、無事ガバナーを務めさせていただきました。有難うございました。	ジャイアンツが追って来ました。新井さん、藤川さん、矢野さん早く帰って来て下さい。
中村 靖男さん	家内の誕生日にきれいな花束を頂きありがとうございました。	八幡 建二さん 直前ガバナーの平原様お忙しい中ようこそおいでいただきありがとうございます。
藤田 昌宏さん	歓迎 平原祥彰直前ガバナーをお迎えして。	前田 成蔵さん 直前ガバナーの平原祥彰さん本日はご多忙の中当クラブからの無理なお願いをご承諾いただきありがとうございます。よろしくお願いたします。
岡本 哲爾さん	暑中お見舞い申し上げます。	檜畑 友洋さん 平原様、本日はおこしいいただきありがとうございます。
島 公造さん	無事アメリカより帰還しました。	〔1年皆出席表彰〕 土方 浩市さん(また1年がんばります)
松田 洪毅さん	平原直前ガバナーさん、昨年一年間本当にご苦労様でした。又本日の卓話よろしくお願いたします。	
谷口 文利さん	平原直前ガバナーをお迎えして。	
中山 恒夫さん	平原祥彰直前ガバナーをお迎えして。	
笹島 良雄さん	平原バスターガバナーさん御苦労様でした。本日はよろしくお願いたします。	
瀧川 嘉彦さん	平原様、本日はわざわざおこしいいただきありがとうございます。	
田中 完児さん	よろしくお願い申し上げます。 妻の誕生日にすばらしいお花ありがとうございます。	



おめでとうございます!

【本日の累計 81,760円(計15名)(お誕生日お祝い 80,000円 皆出席 15,000円 その他 576,146円) 累計額 671,146円】

本日の例会 8月28日(木)

- 卓話「二人の源義経と熊野の銀」
社会工学コンサルタント(行政書士) 小谷 正さん
- お誕生日お祝い
田原 久一さん 8月2日 三毛理一朗さん 8月3日
中村 靖男さん 8月4日 八幡 建二さん 8月16日
亀田 直紀さん 8月24日
- ピアノ演奏 中井 利枝さん
夜の静けさの中で(ANDRE GAGNON)
めぐる思い出(ANDRE GAGNON)

次回の例会 9月4日(木)

- クラブフォーラム「青少年」
- 卓話「新世代月間に因んで」
2640地区青少年・ライラ委員会
委員長 瀧 成和さん(富田林R.C.)

前回の例会 8月21日(木)

- クラブフォーラム「会員増強」
- 卓話「会員増強月間にちなんで」
2640地区クラブ奉仕部門カウンセラー(直前ガバナー) 平原 祥彰さん
- ロータリーソング 島 公造 ソング委員長
「四つのテスト」
- ビジター紹介 山野 武彦 親睦委員
和歌山北R.C. 和関 義和さん
- 出席報告 島 公造 出席委員長
会員数56名(内出席規定適用免除会員9名)

8月21日(本 日)	37名	78.7%
8月 7日(メーキャップ後)	45名	95.7%

市内ロータリークラブ情報	クラブ	日時	内容
	和歌山城南R.C.	8月28日(木)	卓話「おいしいワインの飲み方」堀江 英行 会員
	和歌山南R.C.	8月29日(金)	卓話「観光学部について」和歌山大学 学長 小田 章さん
	和歌山中R.C.	8月29日(金)	卓話「JCの奉仕活動について」和歌山青年会議所 理事長 乾 敦雄さん
	和歌山北R.C.	9月1日(月)	クラブフォーラム「新世代のための月間」
	和歌山アゼリアR.C.	9月1日(月)	例会変更
	和歌山R.C.	9月2日(火)	卓話「少林寺拳法が目指す社会教育団体としての役割について」和歌山県少林寺拳法連盟理事長 白井 章夫さん
	和歌山西R.C.	9月3日(水)	卓話「思いつくまま」スポーツ指導者 遠藤富士雄さん
	和歌山東南R.C.	9月3日(水)	「体験例会」会員増強委員会

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
 会報・広報委員会 嶋 弘伸 古屋 光英 笹島 良雄 武田 慎介 吉田 篤生



2008~2009年度 国際ロータリーのテーマ
「夢をかたちに」 ~Make Dreams Real~

2008~2009年度 和歌山東ロータリーのテーマ
「ロータリーの魅力再発見」

国際ロータリー第2640地区
和歌山東ロータリークラブ U.R.L. http://www.werc.jp
 E-mail. info@werc.jp

2008年 8月 28日(木) 週報 / VOL.50 No.8(通巻2371)



会長報告

八幡 建二 会長



皆さん、こんにちは。最近テレビを見ても新聞を見てもオリンピックのニュースばかりで、ほかの戦争や裁判などのニュースが少ないように思いますが、それだけ日本人がオリンピックで活躍しているということではないかと思えます。我々にとって最も身近なのがレスリングフリースタイルで和工出身の湯元健一君が銅メダルを取りました。和歌山市出身のメダル獲得者を調べていますが、1952年第15回ヘルシンキ大会の水泳で橋爪四郎さんが銀メダル、1992年第25回バルセロナ大会の野球で小久保裕紀さんが銅を取りました。出生地などの問題がありますが、和歌山市で確実なのは今までに3人です。

この二週間は本当にオリンピック一色で、次の日曜が閉会式ですが、まだまだ今日も女子ソフトボールの決勝がございすし、野球もベスト4まで残っています。最後まで楽しいオリンピックですが、でも世の中は大変な時期ですが、オリンピックに浮かれて新聞誌上もそのことばかりで、ほかの大切なことが小さく書かれているように思えてなりません。

本日8月21日ですが、丁度後半後の2月21日は我々ロータリークラブ50周年の式典です。どうかこの日はくれぐれもお忘れのないように、また万全の準備をして50周年を迎えたいと思いますので、皆様ご協力をお願いいたします。

幹事報告

前田 成蔵 幹事



本日大変お忙しい中お越しいただきました直前ガバナー平原祥彰さま、本当にありがとうございます。後ほど卓話を宜しくお願いたします。

- ・こぼと学園だより 回覧
- ・「ロータリー情報集」の申込案内 回覧
- ・「ハイライト米山」米山奨学会 最新ニュース 回覧

委員会報告

社会奉仕委員会

田中 完児 委員長



こんにちは。こぼと学園 夏祭りのバナー用品寄付のお願いです。年々少なくなっているようですので、今年は是非たくさんお願いたします。

期限:9月4日(木) 届け先:クラブ事務局 または 例会場

米山奨学生 ご挨拶

李 亜琮さん



皆さん こんにちは。ロータリー米山奨学生になって4ヶ月が経ちました。この間皆様には本当にお世話になりありがとうございます。これからも皆さんの期待にこたえるため、患者さんの病気を治すためがんばりたいと思います。本日はありがとうございました。



卓話紹介

会員増強委員会

瀧川 嘉彦 委員長



皆さん こんにちは。本日は会員増強のクラブフォーラムということで、地区のクラブ奉仕部門のカウンセラーで直前ガバナーの平原祥彰さまにお越しいただいております。会員増強のお話とガバナーのときのいろんな楽しいお話を聞かせていただけたと思います。では、平原祥彰さま宜しくお願いいたします。

卓話

会員増強月間にちなんで

2640地区クラブ奉仕部門カウンセラー(直前ガバナー) 平原 祥彰さん



皆さん こんにちは。ご紹介をいただきました平原祥彰でございます。大変内気で口下手でございますのでお手柔らかにお願いいたします。昨年11月の中頃、こちらに訪問させていただきました。大変皆さんに暖かく迎えていただきました。一年間皆様からお支えをいただきましたので、無事に勝野ガバナーにバトンタッチができました。大変ありがたくうれしく思っております。ガバナーになる人は「ノミネー」「エレクト」と本番で2年準備することができるのですが、送り出しクラブは大変でございまして、私のところは只今19名、当時23名の少数精鋭でございましたが手が足りず大変でした。しかし仲間が文句を言わず懸命に努力してくれましたお陰で、私は勇氣100倍でがんばることができました。非常に感謝しております。まさにロータリーの友情です。

ガバナーのとき、卓話に呼んでいただけたこともうれしいことございまして、一年間に192回挨拶をいたしました。集まっていたらいろんな相談をするわけですが、その準備をすべてクラブの幹事がやってくれます。事前相談、当日の段取り、その後の連絡・報告などです。

本日は会員増強のお話ということですが、皆さんにその話をするのは釈迦に説法ではないかと思えます。我々がどんなに喜んでいただいて良いことをいたしましても、やがてこの活動のステージから離れる日が来ます。我々の実績や考え方や志、理想などを引き継いでいただける若い人たちを迎え入れ、共に研鑽をしなければなりません。

地区全体でいいますと10年間で3600人から2300人ぐらいまで、1300人程度減っております。年々減っております。多い年は3桁減ります。少なくとも60人。私の年度から勝野年度へタッチするときには90人減りました。一クラブ平均30人から31人でございますので、これは2~3クラブが消えたのと同じでございます。

これにはクラブ間の格差がありまして、元気溘溘で会員の減らないところと、どんどん減っていくところがございます。そのクラブの地域に対する影響力や存在感と、会員増強は非常に深い関係があると思えます。ロータリークラブの会員は、尊敬される、信頼される、その業界のトップ、実力者、人格者、すばらしい人たちの集団であるというイメージであれば「一流の仲間入りをしたい」「入れてほしい」ということになります。「付き合いだから仕方がない」「取引があるから断れない」などで入って、いつでも辞めるといふ調子でやっているクラブもあります。これは同じ一人でも随分パワーが違

います。クラブの運営にそれが反映します。我々は本気でロータリークラブの方向性を見つけ出さなければいけません。という事態に来ていると思えます。

勝野年度では、地区の増強委員会としていくつかの方針を出しています。各クラブの会長、幹事、増強委員長は率先して増強活動をしてほしい。クラブの中核である会長幹事が動かないとクラブが一步前に出ないという仕組みになっています。また世の中はどんどん新しい商売ができてきます。以前しっかりやっていた商売が廃れてきます。このように変化していきます。クラブの職業分類が地域の職業断面図にびったり合うように、新しい商売でガンガンやってくる人を迎え入れるように職業分類を見直してほしい。自分たちのテリトリーに専門職のすばらしい人がどれだけいるか、商工会や医師会、JCなどに手を伸ばして調査してほしいと思えます。それから入会して5年程度の年代の人は、ロータリーがわかってきて少し面白くなっていくころですので、この人たちに紹介などをがんばってほしいと思えます。またお金の問題ですが、出しているお金にふさわしいクラブの内容にしてもらいたい。多すぎるところは減らし、ハードルを下げてほしい。活動内容と出費のバランスが取れていないと、若い人たちは強烈にそれを批判します。

我が地区には74のクラブがございまして、メンバーが20人より少ないクラブが13クラブあります。何かしようと思っても20人以下ですと事務員を一人雇って家賃を払って例会をやると、国際奉仕1万円、社会奉仕2万円程度しかできないです。このようなクラブは近隣のクラブと合同で力を合わせてほしいと思えます。

和歌山県のクラブでは女性のメンバーが集まって「紀女会(きのめかい)」をつくり活発に活動しております。大阪にはありませんでしたので是非ともつくっていただきたいと呼びかけ、堺と岸和田東の女性メンバーが中心となって「大阪女性かがやく会」をつくってくれました。ロータリーにも女性の優れたメンバーが増えてきております。優れた専門職、高度な教育を受け実績のある女性をロータリー活動に加入していただける方向で考えるのもいいのではないかと思います。

このクラブには女性のメンバーが一人もおられません。こちらのクラブも、優れたメンバーなら男性女性にかかわらず迎え入れるのがいいのではないかなと思えます。

今は情報の量・質、集め方について、凄く個人に格差があります。例えばコンピュータを使いこなす人とそうでない人ではまるっきり違うわけです。そういうものについても嫌がらず、非常に便利なものだというので挑戦してほしいと地区は申しております。

私の年度で、会員を獲得するための手引書を作りました。各クラブにメンバーの数だけ送らせていただいておりますのでよくお読みください。

私はCLPには不熱心なガバナーだといわれました。CLPをやってくださいとは言いませんでした。検討してくださいとは言いました。CLPというのは、クラブを活性化させるために問題を棚から下ろしみんなで協力してやっていける方向を考えてくださいというもの。RIは5年間検証して、こうすればうまくいきましたよ、参考にしてくださいというのがCLPの例でした。皆さんは「委員会の数を減らす」という受け取り方をし、或いは「職業奉仕が軽視されている」という誤解がありました。CLPはクラブを管理運営するための一つのガイドラインに過ぎません。「こうすると皆さん力をあわせてやれますよ」「こういう無駄は削げばいいですよ」というものです。実際に5年間世界で実験をした結果で、一定のレベルの結論がでたのでお考えになってはどうですか、というものです。決して強制ではございません。

ご存知のように国際ロータリーは一つ一つのクラブが会員でございまして、言わば一つ一つのクラブが国際ロータリーの上にある単に連合体に過ぎませんので、指図したり、命令したり、禁止したりするのがRIの仕事ではないわけです。

委員会の数などの問題ではありません。奉仕活動の内容について再検討する必要があるのではないのでしょうか。例えば、単なる資金提供団体になっていないか?そのことが本当に地域社会の願っていることか?ただ単に今までやっていたから…。それに過ぎないのであれば、本当のニーズにピタッとあった奉仕を考えるべきではないのでしょうか。他の団体でもできることはその人たちにお願いをして、我々はもっと新しい奉仕について研究するべきではないのでしょうか。

クラブの活動を自分たちで相談して短期目標と長期目標についてメンバーでお話してください。

8月は増強の月間ですが、普段もチャンスを見つけて働きかけをしてください。

また機会がございましたらいつでも喜んで参りたいと思えます。

どうぞ皆さん、これからも宜しくお願いいたします。ありがとうございました。